

## 論点整理

協議会、住民説明会、分科会でお出しいただいた主な意見について、以下の分類で整理しました。

- I 学校を残したい
- II 求められる高校像
- III 再編・統合の考え方
- IV その他、高校への要望など

### I 学校を残したい

- ④定時制がなくなっていく現状がある（須坂・住民説明会）  
→中野立志館にある定時制の機能を充実して、定時制教育の発展を図る。定時制教育については、勤労青年に加えて、現在は不登校の子や発達障害の子など、多様なニーズの子どもたちの学びの場となっている（須坂・住民説明会）
- ⑩創成高校も東高も、だれでも受け入れて一緒にやっというイメージ（須高・分科会）
- ⑫創成高校は、存立意義、存在価値が明確で良いが、普通高校をどうやって残すのか、どういう意義があるのか（須高・分科会）
- ⑮（立志館・中野西）学校の特色、人材育成の方向性が違うのがいい。2校ともないと、この地域は発展していかないのではないかと（中野山ノ内・分科会）
- ⑯（立志館・中野西）お互いの特徴を生かせば、旧第2通学区以外からも来てもらえるような高校、そして2校とも残れるような学校になれるのではないかと（中野山ノ内・分科会）

### II 求められる高校像

- ③優秀な人材が流出して、この地域での人材不足が加速すると言ったときに、何を求めて何を育てるのか。外部からめがけてくるような、先進的な教育の場を作る（須坂・住民説明会）
- ⑤通学区外や県外からも人を引き付ける魅力的な高校をつくる。質の高い学びのために、地域を強くできる高校に再編（中野・住民説明会）
- ⑦進学校の中にスポーツ中心のクラスを作ることはいかぬか（須高・分科会）  
→6クラスの内1クラスだけ進学コースを作ってもうまいかぬか（須高・分科会）

- ⑧自ら自分の進路を選んでいく中で、ドアを開けたらドアを開けた人が手に入れられる何かがあればいけない。中学の延長ではない、違う世界が開ける高校を（須高・分科会）
- ⑩地域に残って地域の産業発展に尽くしてくれる高校になってもらいたいと思う一方、都会の大学へ行ってほしいという、悩ましいところもある（須高・分科会）
- ⑭地域で育った子どもたちが、地域で生活する。そのために選択肢を作ることが大事（須高・分科会）
- ⑮魅力あるスポーツに力を入れて、中野市はスポーツが強いというようなところがあれば、もっと魅力的な中野市の高校になる（中野山ノ内・分科会）
- ⑯高校も大学のように、社会人が学べる場所としてもありえる（中野山ノ内・分科会、第2回協議会）
- ⑰（創成高校の）デュアルシステムを一般の人たちの学びの拠り所にもできないか。地域の学校、社会人も学べるような高校でもあってほしい。（第2回協議会）
- ⑱（立志館・創成）どちらの高校も専門の学科以外の授業が選択できるようになっており、進学・就職の幅も広がっている。選択学科以外の学科に進路変更できる（第2回協議会）
- ⑳（立志館・創成）それぞれの高校が考えている方向は、中央に向かって人材を輩出していくというよりは、地域を作っていくというところに向いていると感じたし、そうなってほしい（第2回協議会）
- ㉑実業系の高校には、地域と密着したシステムを作ってほしい（第2回協議会）
- ㉒高校生の中に地域課題に関わった生徒は地域に帰ってくる率が高い。地域に密着した学校であってほしい（第2回協議会）
- ㉓総合学科高校や総合技術高校のような学校に、地域の将来がある。地域における大学と一緒にんだという考え方も持てる（第2回協議会）
- ㉔デュアルシステムをインターンシップだと思えば、高校の実学の部分を地元の企業が担うのもいい。地元で育てたい学生を地元が育てているという形になり、地元への定着率も上がるのでは（第2回協議会）

### Ⅲ 再編・統合の考え方

- ⑤通学区外や県外からも人を引き付ける魅力的な高校をつくる。質の高い学びのために、地域を強くできる高校に再編（中野・住民説明会）
- ⑥進学校を残す方法論として、近隣の普通高校を単に合併・統合することで、素晴らしい学校ができるとは思えない。特徴がないとどんどん子どもたちは

出て行ってしまう（須高・分科会）

- ⑦進学校の中にスポーツ中心のクラスを作ることにはできないか（須高・分科会）  
→6クラスの内1クラスだけ進学コースを作ってもうまくいかないことが多い（須高・分科会）
- ⑨須坂高校だけこのまま維持するというのは難しい（須高・分科会）
- ⑩子どもの数は絶対数なので、今の高校数は無理なこと。中野市に戻ってきたという子が増えるよう、両校の良いところをフル活動させて頂いて、良い高校をつくって頂きたい（中野山ノ内・分科会）
- ⑪普通高校と実業高校が一緒になり特色を出していくのがいいのでは。立志館の取り組みが、これからの考える教育に合致している（中野山ノ内・分科会）
- ⑫普通科の高校をどうするのか考えたとき、創成高校に普通科があってもいいのでは（第2回協議会）
- ⑬再編は立志館高校の形で良い（第2回協議会）

#### IV その他、高校への要望など

- ⑭中学生にも分かりやすい三つの方針の書き方をしてもらえると、中学生段階で自分の将来像が明確になってくる。（第1回協議会）
- ⑮40人学級を少人数にできないか（第1回協議会、須坂・住民説明会、中野・住民説明会）  
→ある程度の人数があって、いろいろな考え方をしている生徒がいることが、子どもたちの刺激になる（第1回協議会）  
→40人学級は法律。ただし、学習集団としては、20人とか30人もあり得る。今年は、少人数学級を研究する高校も設け、研究している（第1回協議会、須坂・住民説明会、中野・住民説明会）
- ⑯都会の子どもは、中学受験、中高一貫校受験のために頑張っている。長野や松本でもそういう流れになっていくのではないかと（須高・分科会）
- ⑰高校教育の中身、質というものをこれから地域というキーワードになぞられて、考えていく必要がある（中野山ノ内・分科会）
- ⑱（立志館・創成）この2校を多くの人に知っていただくことが必要（第2回協議会）